

【ENOG87】 「ただのエンジニア」が サービスをゼロから生み出して 学んだこと ～マネージドピアリングルータ編～

2025年08月22日

BBIX株式会社
プラットフォーム事業本部
アライアンス推進統括部
営業推進部
クラウドマーケティング課
関



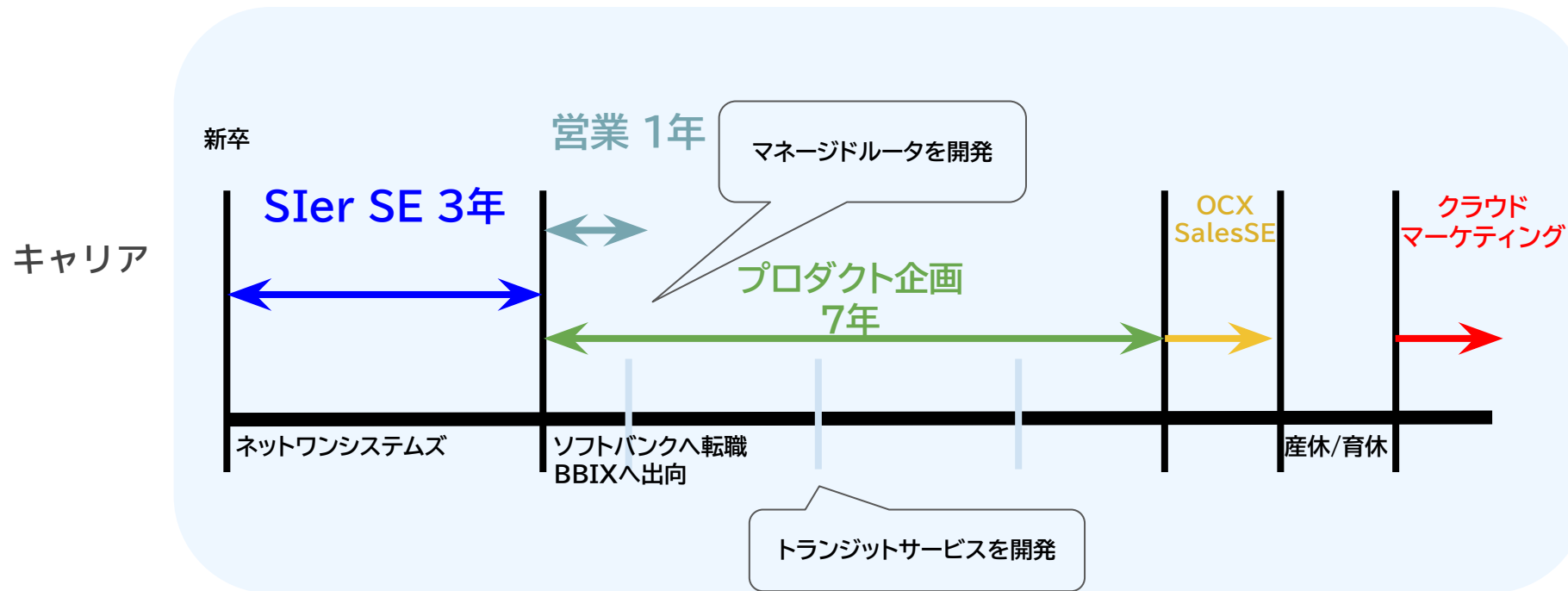
はじめに

■ 本セッションでは、
私がマネージドピアリングルータをゼロから立ち上げた経験を通じて
得られた学びについてお話しします。

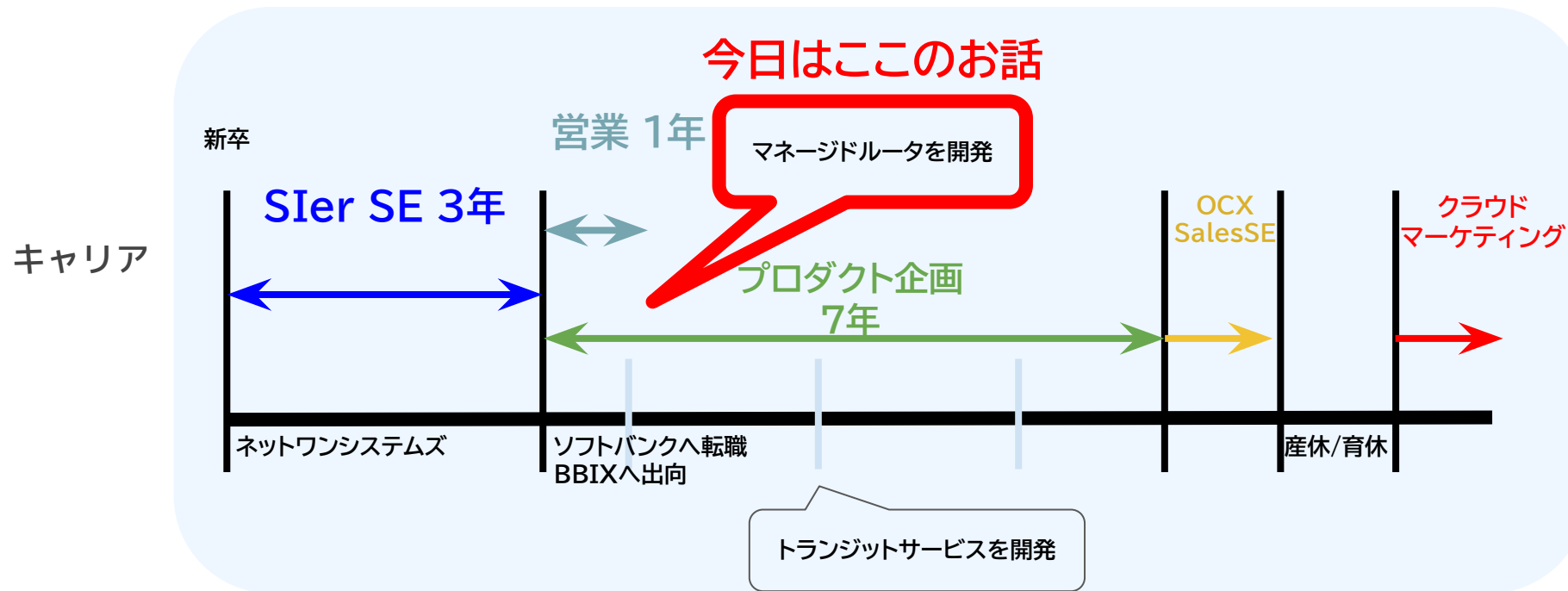
- ・ 「課題」の突き止めと可視化
- ・ 顧客との対話を通じたブラッシュアップ
- ・ 地道に社内の仲間を増やしていくプロセス
- ・ リリース後の継続的な改善の重要性
- ・ 「The Internet」全体の健全性

そんな多角的な視点について、
サービス開発のプロセスや心構えの面も含めてゆるく共有できたらと思います。



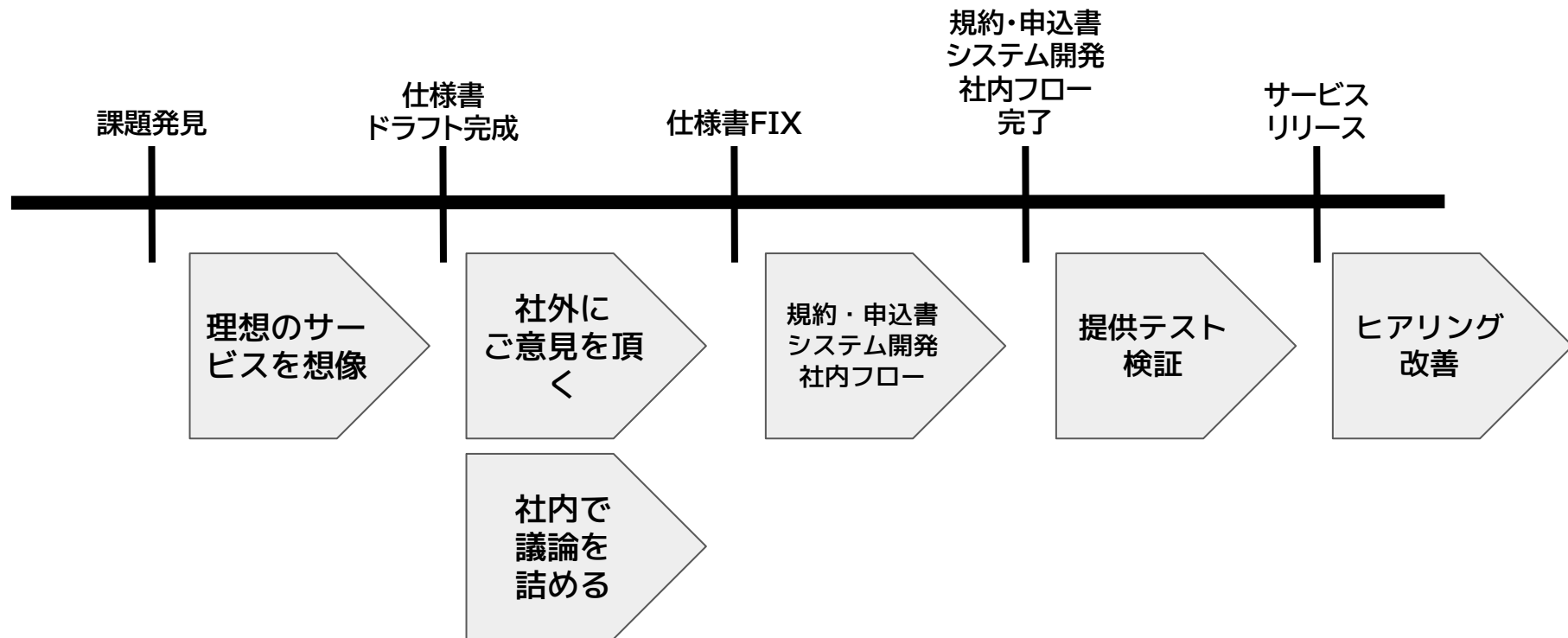


現在0歳11ヶ月の息子がいます。
保育園に通わせながら、フルタイムで働いています。

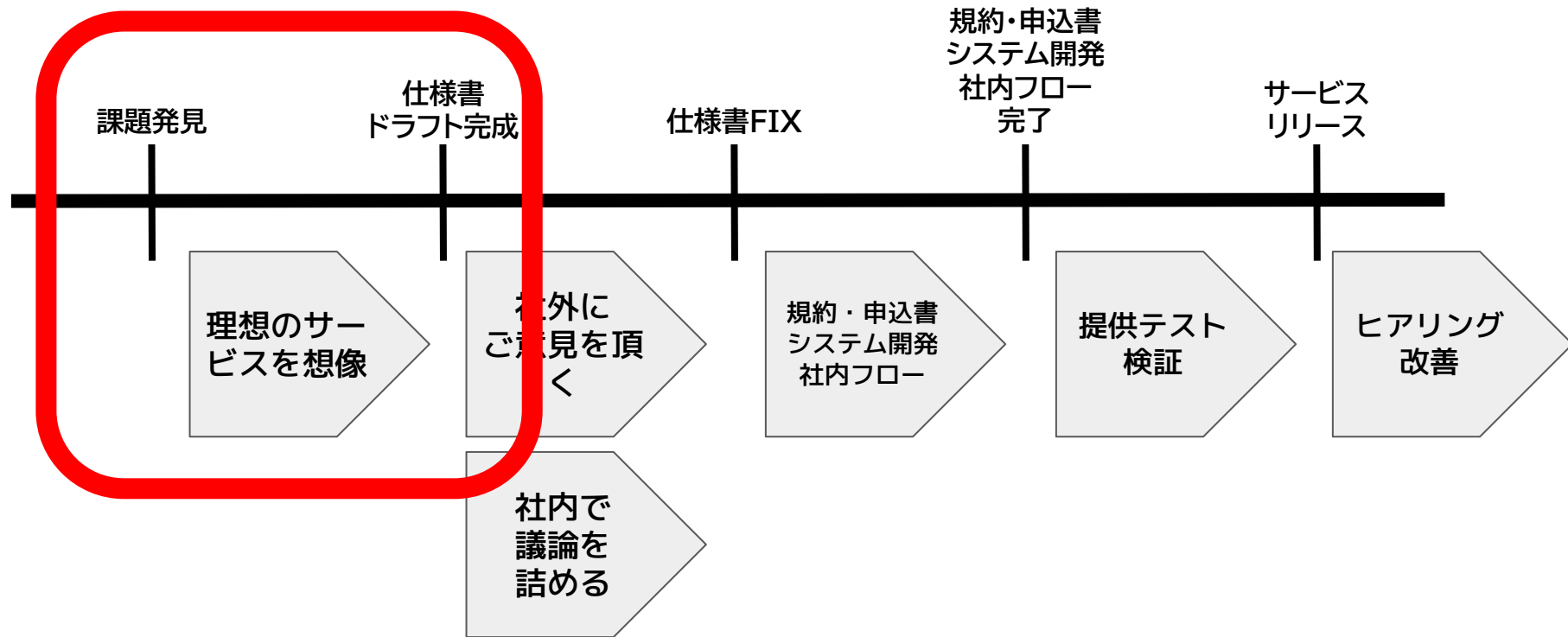


現在0歳11ヶ月の息子がいます。
保育園に通わせながら、フルタイムで働いています。

サービス開発の流れ



サービス開発の流れ



課題の発見と理想の仕様書作成

■ 日々の会話の中で、通信業界の課題は何か？を考える。

現状から、

「本質的な問題はなにか？」

「どうすれば良いのだろうか？」

「こういうサービスがあったら良いのかも」

想像を広げ、深く掘り下げて考えてみる。

サービスを作る人自身が直接課題を認識し、どうすれば解決できるかを自ら考える。



課題が明確になったら、

自分の考える「理想のサービス」をまずは書き出してみましょう！



これがサービスの「仕様書のドラフト」となる。

この段階では、「できる／できない」は関係なく、純粹に、

「こんなサービスがあったら最高だ」「みんな嬉しいだろう」という理想を自由に書き出してください。

ここに答えはないので、深く悩まず一気に書き出すのがおすすめ！

見えてきた課題

AS運用を始めてIXに繋ぎたいが…

- ・ 人手不足
- ・ AS運用のナレッジ不足
- ・ 機器の購入
- ・ Peeringの度に発生する
要件定義・見積もり・発注
など。

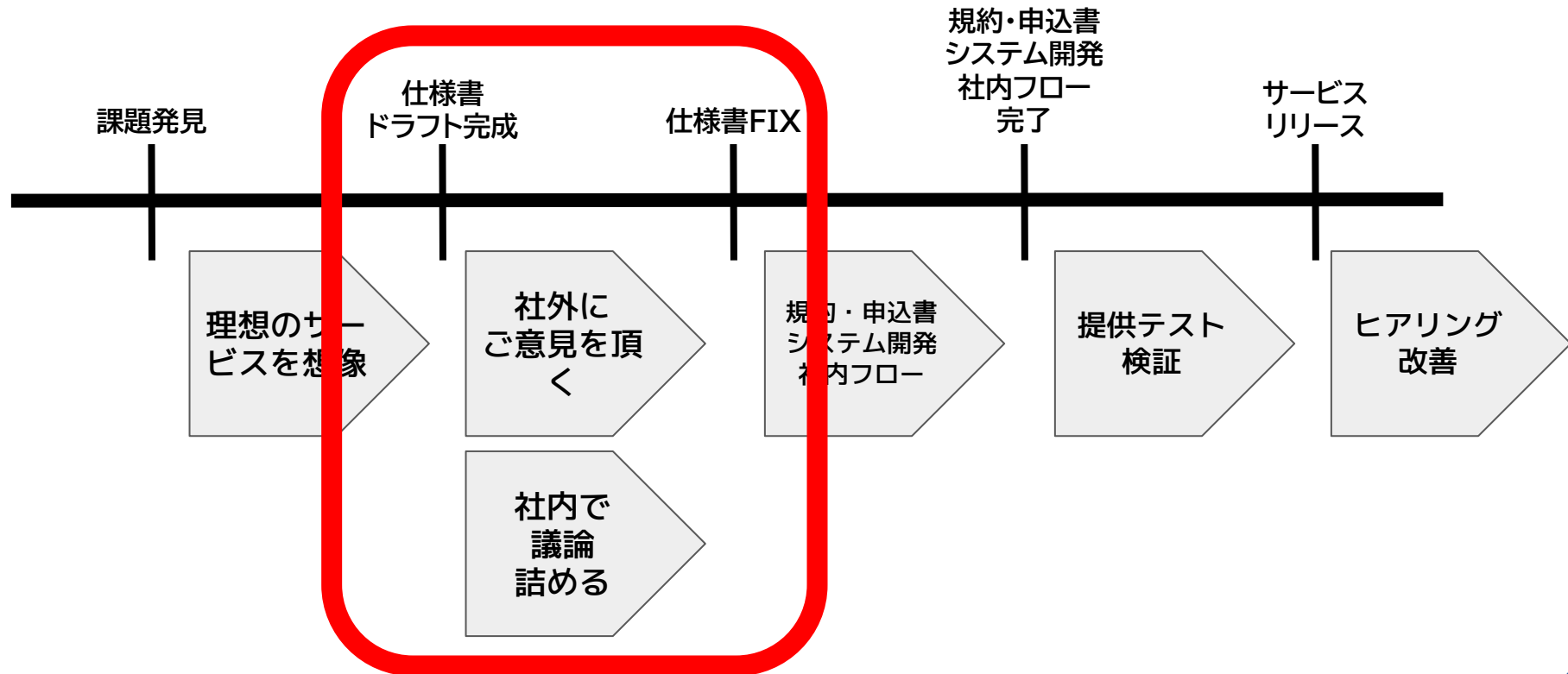


理想の仕様

- ・ **トラフィックレポート**で
効率的なPeering先がわかる。
- ・ 希望する場合は機器へのログインや
設定変更もでき、自社に**ナレッジが蓄積**できる。
- ・ **ルータ貸出費用込み**
- ・ 機器のEoLがきたら**リプレイス**してくれる。
- ・ **導入・運用・保守**全て込み。
- ・ **Peer設定変更 何度でもOK。**

まずはできるできない関係なく、最高の理想を書いてみる

サービス開発の流れ



仕様書のドラフトができたら

社外の人にドラフトを見せて意見をもらいましょう！

- 「こういうサービスがあったら嬉しいですか？」
- 「検討の土俵に乗りますか？」
- 「ネックとなる点はどこですか？」

素直に聞いちゃう。
自分で考えていても
答えは出ません。

「単なる想像」で作った理想の仕様書が、
「売れそうな」「役に立ちそうな」仕様へと進化していく😊
段々と 正解 が見えてくる。

■ 社内での実現性についてディスカッション

- 理想の仕様をどうやったら実現できるか？
 - どう変えたら実現できるようになるか？
 - ひたすら話合う。
 - ひたすら仕様を現実に落とし込む。
-
- **正直ここが一番大変。**



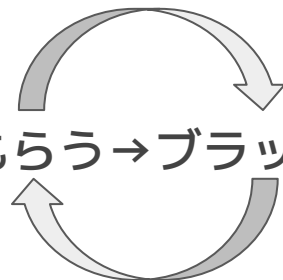


批判されたくないのなら、
新しいことに挑戦すべきではない。

by Jeff Bezos

■ 地道に、サービスを提供する「目的」を周知・発信する。 みんなで作っていきこうという啓蒙。

- 地道に仲間を増やす
 - いきなり全体会議でドラフトを見せても、意見がまとまりにくい。
 - それぞれの立場・考え・知識がバラバラだから。
- 各セクションのキーパーソン毎に、個別に資料レビューしてもらおう。
 - 全体レビュー時は、各キーパーソンの了承をもらった状態で臨むのが理想。
- スムーズな進め方
 - ドラフト作成→個別に見てもらう→ブラッシュアップ→全体合意→FIX



ここで一度、立ち返る。

サービス利用者のためになるか？

- ・ 長期的な視点でサービス利用者のためになるか？
- ・ 自由を奪っていないか？（例：MPRIは利用者がログイン可能で、ナレッジ蓄積を支援する仕様とした）
- ・ Win-Win、共存共栄していけるか？

会社の利益になるか？

- ・ コスト計算や利益率など、無理のない提供体制か？

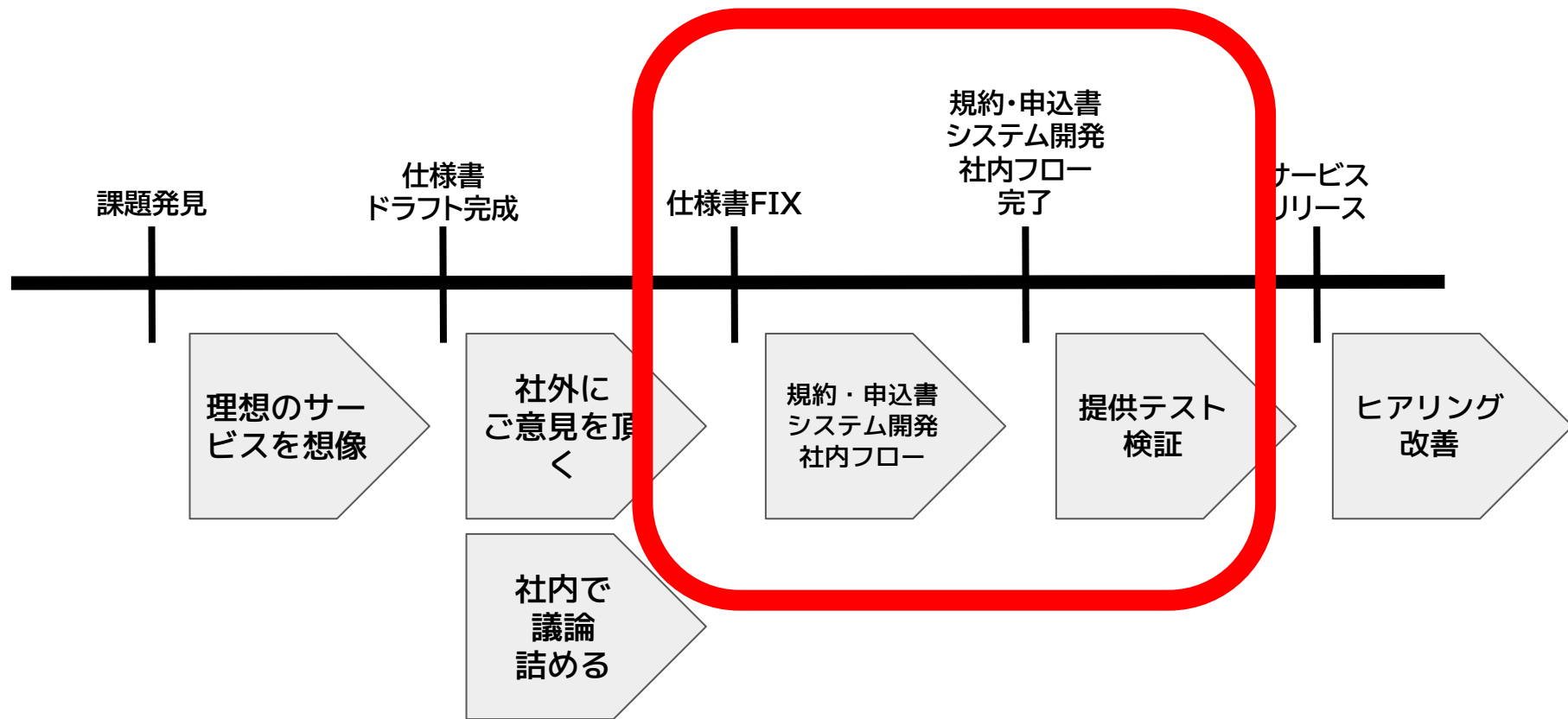
技術面でバランスは取れているか？

- ・ セキュリティ性・安定性・コストのバランスの取れた技術仕様か？
- ・ 枯れた技術や新しい技術など、様々な観点から適切な技術選定ができているか？

The Internetのためになるか？

- ・ みんなのための「インターネット」。
- ・ インターネットは様々な立場のプレイヤーが存在している。
- ・ 自社の利益だけでなく、インターネット全体の健全性や発展に貢献できるか？
- ・ あるべきネットワークの冗長性を保てるか？
（例：マネージドピアリングルーターはマルチホーム設計。）

サービス開発の流れ

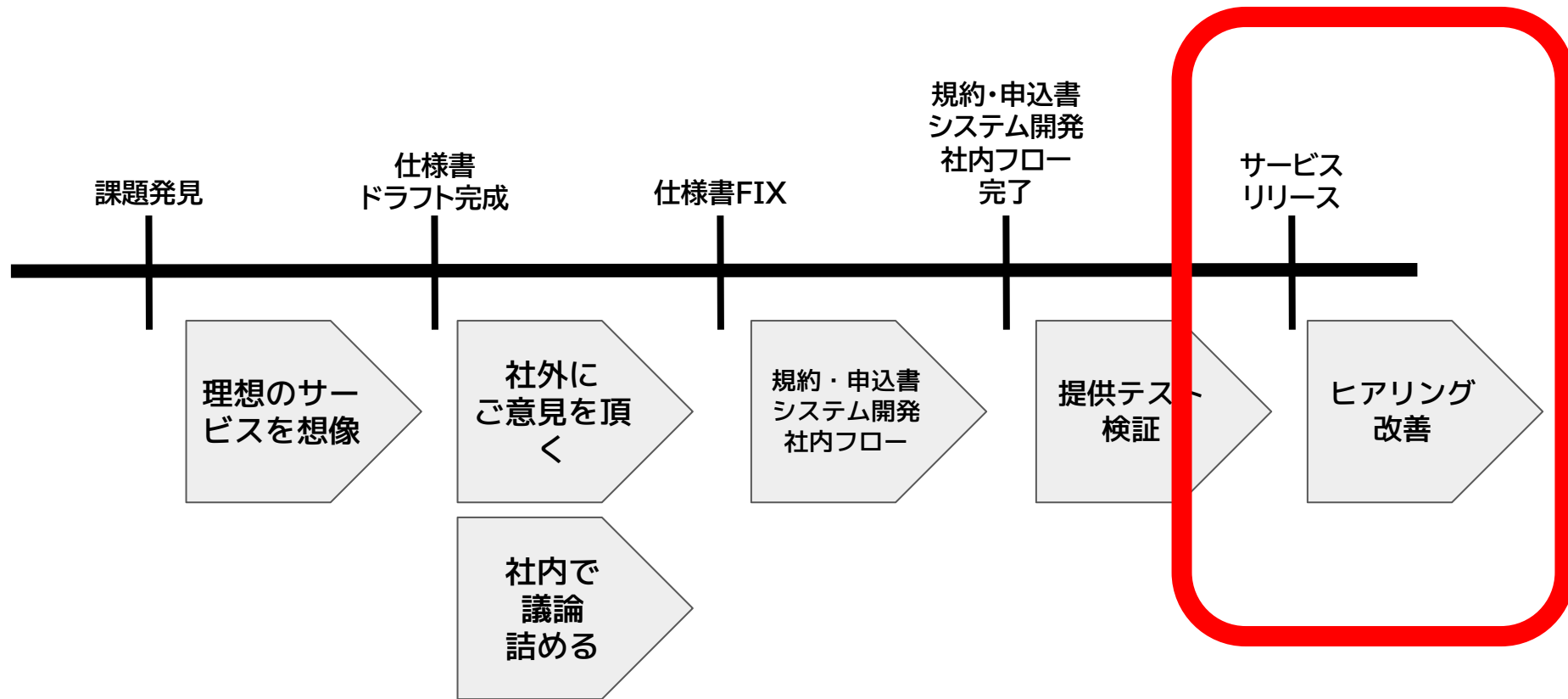


■ リリースに必要なものたちを作って、提供のテストをしましょう。

- 規約
- 申込書
- 説明資料
- 各種社内フロー
- 請求関連
- システム開発
- テスト・検証
- Webページやプレスリリース
など



サービス開発の流れ



いよいよサービスリリース！

■ サービスが世に出た後

- リリースしてからがある意味本番。
 - 完璧なサービスは無いので、S-in後に絶えずブラッシュアップをしていく。
- しばらくは作った本人が提案や、ヒアリングに行けるとベスト
 - お客様からサービスの使い勝手をヒアリングして改善点を把握
 - 仕様の改良や、追加オプションの検討
- より多くの方に使ってもらえるサービスへと成長していく

start!

■ 会社は何かしらの形でサービスを提供し、
お客様からの対価をもらい、成り立っているものです。

- 営業、技術、立場に関わらず、全員が
「どうしてもっと良いサービスを提供できるか？」を
自分ごととして考えるべきだと思っています。
- リリース後も、さまざまな部署を通じてお客様からご意見をいただくとします。
お客様からの声は、自分たちのサービスをより良くするための貴重なヒントです。
その声を「自分ごと」として受け止め、
より良いサービスを提供できるように、自ら考えていくことが大切だと思っています。

サービスを作って得られた事

■ サービス開発は自身の大きな糧となる！

- 課題の突き止め
- ヒアリング力
- 社内調整力
- コスト計算
- The Internet全体として問題がないか
- 会社としてのサービス提供
(電気通信事業法/提供役務・責任)
- システム要件定義
- 会社内の理解(社内フローの立てつけ)

たくさんの貴重な経験！

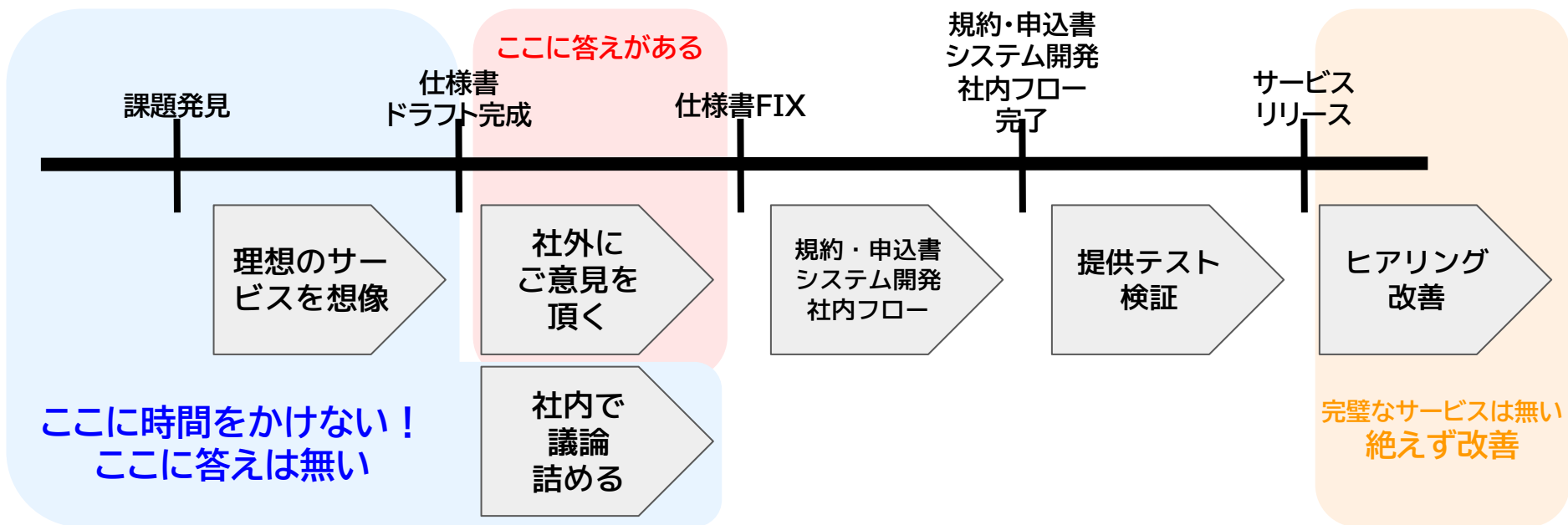
■ サービスを使ってくださっている方からの「お声」は、何にも変えられないくらい嬉しい！

- このサービスを作ってくれてありがとう。
これがなかったら・・・
- このサービスのこの仕様がいいよね！

疲れたとき、頂いた言葉を何度も
反復して元気をもらっています😊
私の大きな活力です。

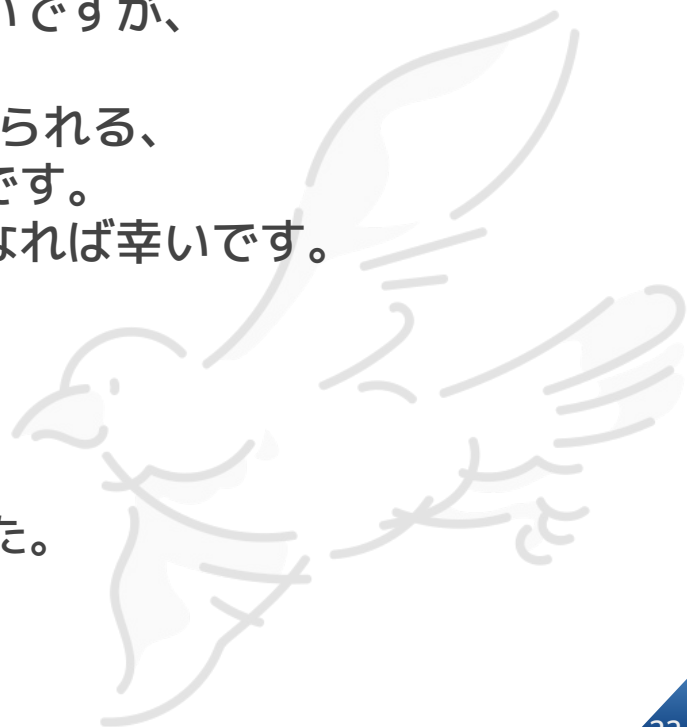
まとめ

- 本質的な課題を常に考え、理想のサービスを想像しよう。
- みなさんに意見を頂く。少しずつ正解が見えてくる。
- リリース後も、継続してブラッシュアップしよう。変化を恐れない。
- 会社が提供しているサービスについて「自分ごと」で考えよう。



サービス開発は大変なことも多いですが、
自身の成長にも繋がり、
何よりお客様の喜びを直接感じられる、
非常にやりがいのある経験です。
今日のお話が皆さんの日々のヒントになれば幸いです。

ご清聴ありがとうございました。



あらゆるものが「つながる」世界へ

